

Ranorexユーザー事例 **FXプライム by GMO**

強靱な FX 取引システムを提供する FX プライム byGMO UI テストを自動化・効率化するために Ranorex を導入

株式会社 FX プライム byGMO

FX プライム byGMO は、同社が提供する FX(外国為替保証金取引) 取引システムの更改時に発生する UI の検証テストを自動化・効率化するために、テクマトリックスが提供する UI テスト自動化ツール「Ranorex」を導入した。これまで対応ブラウザごとに丸 1 日かけていたテスト時間が、Ranorex により 1 ～ 2 時間で終了するようになるなど、開発・テスト期間を大幅に短縮する効果が得られているという。

株式会社 FX プライム byGMO

設立年月日	2003 年 9 月 24 日
資本金	1 億円 (2020 年 1 月 30 日時点)
代表者	代表取締役社長 安田 和敏
従業員数	24 名 (2020 年 1 月 30 日時点)
本社所在地	東京都渋谷区道玄坂 1-2-3
事業内容	金融商品取引業、およびその付帯関連業務

安心・信頼できるシステムを提供

FX プライム byGMO は、外国為替の金融先物取引業者として 2003 年 9 月に設立された企業。当初は伊藤忠商事の子会社だったが、2008 年に株式上場、2012 年 9 月に GMO インターネットグループに外国為替保証金取引の専業としてグループジョインした。2013 年 10 月には現社名へと商号を変更している。

オンライン取引専門の同社は、日本国内における FX 専門の取引業者で初めて、2007 年 1 月に情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) の国際規格「ISO/IEC27001」、2009 年 11 月に IT サービス管理の国際規格「ISO/IEC20000-1」の認証を取得。システム管理やセキュリティ対策などのシステム全般において「安心・信頼できる取引環境の維持・向上に努めている FX 取引業者」と高く評価されている。顧客の取引基盤となるサーバーやネットワークの安定性は非常に高く、過去 10 年近くにわたりシステムダウンを起こしたことがなかったのが同社の自慢だ。

そんな FX プライム byGMO では、PC ブラウザー用の「ハイスピード注文画面」、スマートフォン用アプリ「PRIME アプリ S」といった各種取引ツール、業界最高水準の 54 種類に及ぶテクニカル指標を実装した「プライムチャート」といった便利ツールなどのさまざまなシステムを社内開発している。市場や顧客ニーズの変化

に即応するためにシステム更改や機能刷新も頻繁に行われており、常時何本かの開発プロジェクトが並行して走っているという。

「当社では安心・信頼できるシステムをお客様にご利用いただくために、システムの検証テストは特に入念に行っています。その反面、検証テストの工程に想定以上の時間がかかり、プロジェクトがしばしば遅延するという課題に悩まされていました。原因は、更改の際に変更していない箇所についても検証・テストを手作業で一からやり直していたことにありました」(FX プライム byGMO 情報サービス部 システム開発グループ 田中 雅敏氏)

中でも特に負担だったのは、システムのユーザーインターフェイス (UI) が正常に動いてい

るか、操作エラーが発生しないかどうかを検証する作業だった。対応 OS で稼動する各種ブラウザの推奨バージョンごとに、同じテストを何度も繰り返さなければならないからだ。

テクマトリックスから Ranorex を提案

FX プライム byGMO ではこの課題を解決するために、変更していない箇所の検証テストを効率化することを模索し始めたという。

「最初に検証テストの工程をアウトソースすることを考えましたが、コストが掛かりすぎます。そこでテストを自動化できるツールを探すことにし、オープンソースソフトウェアを中心



情報サービス部
システム開発グループ

廣瀬 哲也氏



情報サービス部
システム開発グループ

田中 雅敏氏



Ranorex でテストしている FX プライム byGMO ハイスピード注文画面と PRIME アプリ S

に複数のテストツールを入手して試してみました。しかし、ほとんどのテスト自動化ツールは開発ベンダーが使うことを想定しており、どのツールも私たちユーザー企業にとって使いやすいものではありませんでした」(FX プライム byGMO 情報サービス部 システム開発グループ 廣瀬 哲也氏)

「ツールにはテストを自動化するだけでなく、エラーが起きた場合でもメンテナンスすべき箇所を指摘してくれることが前提でした。コストをできる限り抑えることも大きな要件でしたが、そんな当社にとって最適なテスト自動化ツールはなかなか見つかりませんでした」(田中氏)

そうした中、GMO インターネットグループ内の他の事業部門からテクマトリックスを紹介された。

「テクマトリックスに最適なテスト自動化ツールはないかと相談したところ、提案されたのが『Ranorex』でした。Ranorex ならば、作成したシナリオのとおり再生することで、テストを無人で自動実行することができます。テストの経過を画面 1 枚ずつキャプチャして記録するので、エラーの発生箇所を特定するのも容易です。私たちが考えていた要件にぴったりのツールだったので、まずはテクマトリックスの協力のもとに PoC(概念実証)を行ってみることにしました」(廣瀬氏)

りの部分を自動化できることを確認し、正式に Ranorex の採用を決定した。現在は、あらかじめ用意されているシナリオをベースに検証テストを実行しているという。

「Ranorex を使い始めた結果、これまでは 1 ブラウザーあたり丸 1 日(約 8 時間)かかっていた手作業によるテスト時間は大幅に短縮され、1 ブラウザーあたりわずか 1 ～ 2 時間でテストが終了するようになりました。Ranorex のテスト結果を人の手でチェックしていますが、その時間を考慮しても検証テスト工程にかかる時間は約半分程度まで削減できたと考えています」(田中氏)

「Ranorex では、お客様が実際に操作するのと同じ動きを想定してテストできるので、システム操作性の品質向上に大いに役立ちます。運用開始当初は適用範囲も限られていましたが、それでも各プロジェクトのトータルで年 3 ～ 4 回も利用すればライセンス価格の元が取れてしまう計算になります。コストを抑えたいという要件の面でも、非常に満足しています」(廣瀬氏)

今後はスマートフォンアプリなど利用範囲を拡大

テクマトリックスの導入支援・サポート体制に対する満足度も高い。

「使い方などの不明な点に関してメールで 2 ～ 3 回問い合わせましたが、問題を解決する回答がすぐに得られました。使い方をトレーニングするハンズオンセミナーも開催してもらえたので、短期間のうちに使い方を習得することができました」(田中氏)

FX プライム byGMO では現在、PC ブラウザー向けの取引ツールの検証テストを中心に Ranorex を利用しているが、今後はスマートフォン用アプリの検証テスト工程に組み込んだり、他の事業部門へ横展開したりなど、徐々に利用範囲を拡大させていくことも視野に入れているという。

安心・信頼できる FX 取引システムを提供するために、検証テスト工程を重視する FX プライム byGMO。そんな工程を効率的かつ確実に実行するテスト自動化ツールとして、今後も Ranorex が使われ続けていくことだろう。

検証テスト工程にかかる時間を半減する効果を得る

FX プライム byGMO が PoC を実施したのは、2018 年 3 月のこと。3 ～ 4 カ月の PoC により、手作業で行ってきた検証テスト工程のかな

総販売代理店

TechMatrix

テクマトリックス株式会社

ソフトウェアエンジニアリング事業部

ranorex-info@techmatrix.co.jp

〒108-8588 東京都港区三田 3-11-24 国際興業三田第 2 ビル

TEL 03-4405-7853

www.techmatrix.co.jp/product/ranorex/